



石部中学校 校報
湖南省宝来坂四丁目3-1
TEL: 77-3781 FAX: 77-6802
<http://www.edu.konan.jp/ishibe-jh/>

ウォークラリー無事終了！！

去る9月29日(土)に、PTA会長・Aさんを実行委員長として、本校ウォークラリーを開催しました。当日は、前日までの陽気とは違い、曇り空で少し肌寒いぐらいの日となりましたが、生徒が歩くにはちょうどよい天気だったと思います。

今年度は、浜大津をスタートし、大津市、草津市、栗東市を通り石部中へゴールするという全長約25kmのコースでした。一番早い生徒は、10時45分に学校にゴールし、最終の生徒も午後3時にはゴールすることができました。ゴールした生徒は、温かい豚汁とおにぎりを係の方からいただき、おいしそうに食し、完歩した喜びを味わっていました。

交通の安全なコースを選んだものの、長い道のりでしたので、交通事故等も心配していましたが、何事もなく終了することができました。

このようにウォークラリーを成功させることが出来たのは、PTA役員の皆様や会員の皆様、当日コースを巡回パトロールをしていただいた石部学区補導委員の皆様等のご尽力の賜物と感謝しております。何回もの打ち合わせ会議やコースの下見(全行程を実際に歩いてくださいました)、物品の調達、立ち番の方への依頼、前日準備、当日の立ち番やチェックポイントでのお仕事、後かたづけなど、非常に多岐に渡る仕事をしていただきました。また、生徒と一緒に歩いてくださった保護者の皆様も多数おられました。

この場をお借りして、お礼申し上げます。ありがとうございました。

「滋賀 教育の日」 学校へお越しください

11月1日(木)～11月8日(木)を学校公開日に

滋賀県では、滋賀の将来を担う子どもたちの人間性や社会性を豊かに育むために、教育を学校だけで取り組むのではなく、県民をはじめとして、地域、民間団体・NPO、企業・事業者、社会教育施設等および行政といった各主体が連携して、子どもの育ちを支える環境をつくっていく取り組みを進めています。

そこで、県民がこぞって滋賀の教育について考える気運を高め、社会全体で子どもを見守り、子どもの育ちを支える環境づくりを促進することを目的に、「滋賀 教育の日」(11月1日)を設け、この趣旨に沿った様々な取り組みが実施されています。

本校では、11月7日(水)に石部文化ホールにて文化祭を開催しますが、この文化祭の日を含め、11月1日(木)～11月8日(木)までの期間を学校公開日に設定します。この間、保護者の皆様にはいつでも学校にお越しいただき、お子さんの学校生活の様子や学校の様子をご覧いただき、「本校の教育について」お考えいただけたらと考えています。

なお、文化祭の日程等については、後日案内をしますが、午前中は吹奏楽部の演奏や人権劇など、午後から合唱コンクールを予定しています。

体育祭 大成功！！

去る9月8日(土)、本校体育祭を実施しました。生徒は団アピールや全校アピール、3年生のソーラン節等、7月から始めた練習の成果を一生懸命披露しました。

競技中や演技中の態度もよかったです。競技・演技前後の態度も大変すばらしく、きびきびとした、引き締まった体育祭にしてくれました。そのため、進行も大変スムーズに進みました。

今年の夏はことのほか暑く、体育祭当日はもとより練習期間中も大変厳しい暑さが続きましたが、全校生徒が力を合わせ、すばらしい体育祭にすることが出来、大変うれしく思っています。

3年生は最高学年らしく、1、2年生をしっかりと引っ張ってくれ、さすが3年生だなあ、と思わせてくれました。生徒の皆さん、ご苦労様でした。また、PTA役員の皆様もご協力ありがとうございました。

考えよう！！携帯電話 そのメリットとデメリット

携帯電話を持っている生徒が増えてきました。内閣府の今年3月の調査で、携帯電話・PHSを「使用している」と答えた中学生は58%にのぼりました。9月2日付け朝日新聞によると、子どもの携帯電話について、メリットとデメリットを保護者に聞いたところ、次のような結果となっています。

メリット	すぐに連絡がついて便利	84.4%
	子どもの居場所や様子が分かって安心	43.2%
	親子のコミュニケーションに役立つ	14.8%
デメリット	通信費など費用がかさむ	72.6%
	勉強がおろそかになる	27.0%
	出会い系、アダルト系のサイトなどを見てしまう	26.6%
	コミュニケーション能力の発達に悪影響を及ぼす	26.3%
	いじめなど人間関係のトラブルが見えにくくなる	21.7%

このアンケートからも分かるように、携帯電話は便利な道具である反面、危険性やトラブルの元などのデメリットがあり、保護者の方も十分にそのことを認識されています。

実際、本校でも携帯電話のメールやブログの書き込みに端を発した友人間のトラブルが起こっています。また、全国的には出会い系サイトへのアクセスをきっかけとして、見知らぬ人と出会い、生命の危険にさらされた中高生も少なくありません。

携帯電話を使用する場合は、このような問題や危険性を十分に考えた上で、使用させていただきたいと考えています。具体的には、次のようなことをしっかりと守ることが大切だと思います。

1. 人の悪口（誹謗・中傷）やうわさ、悪質な内容などをメールやブログに絶対に書かない。
(人の立場に立って考え、「もし、自分が書かれたらどのような気持ちになるか」を考えよう。)
2. 出会い系やアダルト系のサイトには絶対にアクセスしない。
3. 通信費にも十分注意。携帯電話を使用する必要があるかどうかをしっかりと判断する。
4. チェーンメールは絶対に転送しない。など (その他にもあると思いますが・・・)

また、メールが来たら「すぐに返事をしないといけない。」という一種の強迫観念にしばられ、息が詰まる思いをしている人も少なくありません。このため、勉強に集中できず、成績が下がってきた、という人もいます。8月26日付けの朝日新聞では、このことに悪戦苦闘している中高生の姿が書かれています。少し、引用してみます。

神奈川県の高1女子は期末試験前、部活が2週間休みになり、携帯が手放せなくなった。元気な分だけ、友達と夜中までメールしてしまう。

勉強が出来ないので電源を切った。でも、メールが届いているんじゃないかと気になって、またすぐに手に取る。「部活がないとハマっちゃう。試験前はお母さんに預けることにした」

新潟県の高1女子も、試験前に友達との「恋バナ」(恋愛話)メールが止まらなくなり、送信数が1日200通を超えた。「テストの点数が5教科で100点ぐらい下がった。ケータイしながらの勉強はもうしない」

メールのやりとりが、重荷になっている人もいる。埼玉県の高1男子は、15分以内には返信しなければならない「暗黙の了解」を感じるという。友達や恋愛についての相談メールが、深夜にも届く。「面倒だけど、返信しないと気まずくなるから」。寝ていても起きて返信している。

食事中や勉強中、就寝中など、利用禁止時間を自分で決めても、つい触ってしまう。そのため、「引き出しに入れてカギをかけ、カギを親に渡す」(愛知・高1女子)「電池を親に隠してもらう」(東京・中2女子)などの強制的な隔離や、「1日1回しか充電しない」(新潟・高3男子)などの自己規制を試みている。

あえて「定額制をやめた」(千葉・高3女子)という決断も。一定料金でメールやインターネットをいくらでも利用できる契約では、歯止めがかからない場合もあるようだ。

各家庭で携帯電話の使用について話し合いをしていただき、デメリットを十分認識し、使用のルールを決めていただきたいと思います。

大変残念ですが、携帯電話を学校に持ち込んでいる生徒がいて、けじめがつかない状況があり、大変憂慮しています。指導について、ご家庭でも協力いただけたらありがたいと思います。